

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い				34
	客観性 : 思考的思慮深い				53
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な				69
	気分性 : 感情のまま行動				45
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力				57
	規則性 : 常識的・順法的				67
積極型	競争性 : 勝気な・積極的				49
	自尊心 : 気ぐらいが高い				50
自制型	慎重性 : 見通しをつける				70
	弱気さ : 取越苦労・遠慮				47

■この人の中心性格は「自制・慎重性」および「活動・身体性」であるが、「努力・規則性」や「努力・持続性」といった側面も本人は意識している。

●「自制・慎重性」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ

落ち着いた雰囲気もあり、何事もはっきりとした見通しがつかないという慎重さがみられる。また、斬新なアイデアがあるのかもしれないが、その評価の是非を気にするためか、慎重すぎるためか、自分の物差しの中でできる範囲内のことを限定して表現してしまう傾向がある。また、問題が起ると、何事もなかったようにあっさりとして流してしまうときと、責任を一人で感じて、いつまでも悩んでしまうようなときとが交互にあらわれる。もう少し、失敗を恐れぬ図太さがあるとよいが、慎重さ手堅さは評価できる。反面、思い立ったことは素早く実行するなど、ポジティブな行動をとることもできる。やや思索性に欠けるきらいがあるが、環境が変わっても柔軟に適応することができ、体を動かして物事を解決しようとする。そして、情緒的にも安定していて、一定のリズムをもって生活している。発想も感覚的な部分はあるが、堅実で筋道をたてた理詰りな考え方をすることができる。もっと良い特性を前面に出せばリーダー格になりうる人である。

●もう一方の性格特性

内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分欠ける。

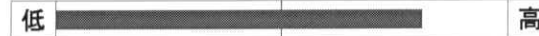
2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数
日常周辺事型				48
客観・科学型				52
社会・経済型				67
心理・情緒型				50
審美・芸術型				37

社会情勢、世の中の出来事に関心があり、世事に明るい。

芸術的な美意識センスは希薄で、通俗的な選択がおおい。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				62
協調性				54
責任感				55
自己信頼性				55
指導性				53
共感性				53
感情安定性				57
従順性				49
自主性				47
モラトリアム傾向				58

率先して業務に取り組み、意見や考えを進んで提案する。
 仲間に協力的であり、共通の目標に向かうことができる。
 任された仕事や役割を理解し、意見に責任を持っている。
 自信があるため、大きな目的をクリアーすることもある。
 比較的気持ちが安定していて、多少の事では動揺しない。
 仕事を含め、人生や現在の境遇に対して何か悩みがある。

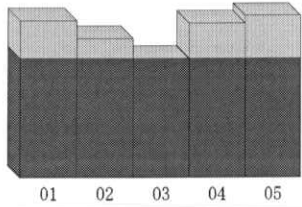
4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				61
親和 欲求				44
求知 欲求				32
顕示 欲求				38
秩序 欲求				59
物質的欲望				37
危機 耐性				62
自律 欲求				51
支配 欲求				47
勤労 意欲				64

困難な目標や難しい事に挑戦し、達成に向けて努力する。
 珍しい事や新しい事よりも、安定した生活環境にいたい。
 自分で目立つ行動をするより、後方で静かにしていきたい。
 支配関係や価値観など、周囲の状況を整理しておきたい。
 モノやお金、資産などに未練を持たずあっさりしている。
 全面的な自我崩壊にならない、危機対応力を備えている。
 仕事をしていくことで、自己実現をはかろうとしている。

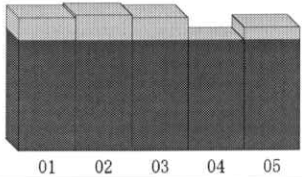
■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群となっている。逆に「人より優位に立ちたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】



- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲

【組織だって仕事を進める能力】



- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性

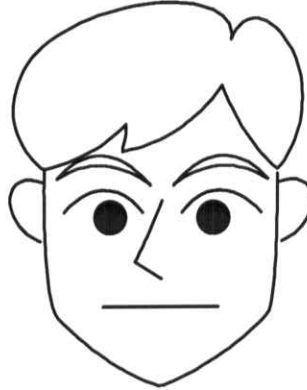
【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
 瞳の直径：達成欲求
 鼻の高さ：顕示欲求
 顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性
 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 口の形状：親和欲求+協調性

逆三角顔 = 思索型
 エラ顔 = 積極型
 細長顔 = 自制型

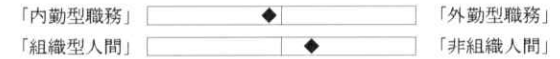
丸顔 = 活動型
 角顔 = 努力型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	74
(2) 海外など精神力の必要な職務	63
(3) 足腰のよさが武器になる職務	59
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	68
(5) 標準化された仕事や工場労働	71

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (2) 「適切」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (3) 「適切」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (4) 「適切」物を対象とする、具体的に実践的な仕事
- (5) 「適度」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (6) 「努力」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」経理 管理者
- (2) 「最適」経理 専任者
- (3) 「適切」秘書 専任者
- (4) 「適切」営業 管理者
- (5) 「適切」人事 専任者
- (6) 「適切」営業 専任者

《低い順》

- (1) 「適度」企画 管理者
- (2) 「適度」広報 専任者
- (3) 「適度」企画 専任者
- (4) 「適度」広報 管理者
- (5) 「適切」研究 開発者

【判定結果E】配置適性2

- (1) 「最適」経理
- (2) 「最適」人事
- (3) 「最適」購買
- (4) 「最適」秘書
- (5) 「適切」営業 (慎重タイプ)
- (6) 「適切」営業 (持続タイプ)

- (1) 「適度」商品企画・開発
- (2) 「適度」広報
- (3) 「適度」総務
- (4) 「適度」顧客開発
- (5) 「適度」教育研修

